

平成26年度

## 全国学力・学習状況調査の 結果について



開校40周年記念キャラクター「うさよん」

5月に児童から募集した数多くの作品の中から、6年女子児童の作品が最優秀賞として「開校40周年記念キャラクター」に選ばれました。学校で飼育されているうさぎをモチーフに、髪飾りには「黄色い校舎」と「サクラの花びら」、ボディーは「みかん」、給食の人気メニュー「あげパン」のかぼんが生き生きと描かれています。

海老名市立東柏ヶ谷小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



職員が作った  
東柏小キャラクター  
「かしわもっちゃん」

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成21～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・小学校第6学年
- ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

### 【中学校】

- 国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

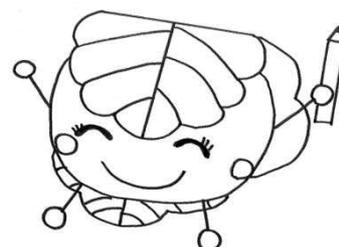
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・ 漢字については、問題によって差はあるものの、読んだり書いたりすることがよくできます。
- ・ 書く力については、文のつながりを捉え、適切な言葉を選択することができます。
- ・ 友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童が多くいます。

#### 《努力を要する所》

- ・ 故事成語などの意味や使い方がよく理解できていない児童がいます。
- ・ 問題を読み取り、自分の考えを書くという「書く力」に課題が見られます。
- ・ 物語の登場人物の相互関係を捉えるという「読む力」に課題が見られます。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・ 目的に応じて話し合いの視点を整理することができます。
- ・ 二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることができます。
- ・ 質問の意図を捉えて、適切に答えることができます。

#### 《努力を要する所》

- ・ 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連付けながらまとめて書くということが苦手です。また、AB問題とも記述式の設定問の正答率が低い傾向にあります。
- ・ A問題に比べB問題の方が正答率が低く、学んだ知識を活用する力に課題が見られます。

### 今後の具体的な取組

- ・ 語彙力を豊かにするために、読書活動をより一層推進していきます。そのために、学校図書館司書と連携して学校図書館・学級文庫を充実します。
- ・ 国語辞典の活用や故事成語、ことわざなどに触れる機会を多くするなど、授業の改善を図ります。
- ・ 「書く力」を付けるために全教科で書く活動を取り入れます。また、今まで通り、学習のめあてや設問の意図を、書くという視点から明確に提示していきます。
- ・ 職員の共通理解のもと、全校でこれらの取組を実践していきます。



## 算数に関する調査結果

### 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・ 四則計算は、比較的身に付いています。
- ・ 円周の長さを求めたり、直方体の体積を求めたりすることができます。
- ・ 四則の混合した式の意味を理解しています。

#### 《努力を要する所》

- ・ 割合の問題など思考力を必要とする問題に課題が見られます。
- ・ 作図に用いられている図形の約束や性質がよく理解できていない児童がいます。

### 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・ 全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができます。
- ・ 規則性を見だし、それを基に問題を考えることができます。

#### 《努力を要する所》

- ・ 示された計算のきまりを基に異なる数値の問題を工夫して計算することが苦手です。
- ・ 示された情報を整理し、筋道を立てて考え記述することが苦手です。
- ・ 国語と同様に、学んだ知識を活用できていないということが課題です。

### 今後の具体的な取組

- ・ 四則計算は低学年からの積み重ねです。基礎基本をしっかり身に付けることを大切にしていきます。
- ・ 身の回りのことを数学的に表すことに苦手意識があるので、日常生活の中で算数の学習成果を活用できる機会を多く設定していきます。
- ・ 「難しいから」とすぐあきらめてしまう傾向が見られます。根気強く取り組む姿勢を身に付けさせていきます。
- ・ 教えるべきことと考えさせることを明確に区別し、引き続き、より効果的な授業の展開を工夫し、実践していきます。
- ・ 具体物を活用したり実際に活動したりするなど、「算数的活動」を取り入れた授業を進めていきます。



# 児童質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか」の質問は、「当てはまる」と答えた児童が全国平均を上回っています。自分の考えをもち、それを表現する力が身に付いてきています。

### 《課題と思われる所》

- ・読書する時間や図書館を利用する回数が少ないことが課題です。
- ・家庭学習は、「宿題をしている」と回答している児童は96.3%いますが、予習復習をしているという児童は少なく、自主的に学習に取り組む姿勢に課題が見られます。

## 生活について

### 《よかった所》

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して92.3%の児童が「楽しい」と答えています。また、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことはありますか」の質問に対して93.2%の児童が「ある」と答えています。このことから多くの児童が、充実した学校生活を送っていることがわかります。
- ・「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に対して94.1%の児童が「ある」と回答しています。全国の86.7%に比べると、とても高い結果となっています。

### 《課題と思われる所》

- ・全国と比べると、地域の行事の参加率が低い傾向にあります。地域と結びつくことは子どもの成長に欠かせないことです。家庭との協力がより一層広がることが地域コミュニティが深まる一助になると考えます。
- ・普段のテレビゲームの時間は、4時間以上と答えた児童が8.7%いました。また、携帯電話やスマートフォンの所有率は60.2%です。学力や生活習慣との関連を考えれば、与え方・使い方を家庭でしっかりと考えていく必要があります。

## 今後の具体的な取組

- ・読書の時間や図書館利用の回数が少なく、今後は、本校の週2回の読書の時間の取り組みを徹底し、語彙力、想像力、集中力などの力を育てていきます。
- ・自己肯定感は73.7%です。低い結果ではありませんが、一人ひとりの児童の自己肯定感を高めるために、家庭、学校、地域で、共通理解をもって取り組んでいきます。
- ・本校の特色である地域との連携を大切に、学校、家庭、地域がひびきあい、ともに子どもの成長を支えていきます。



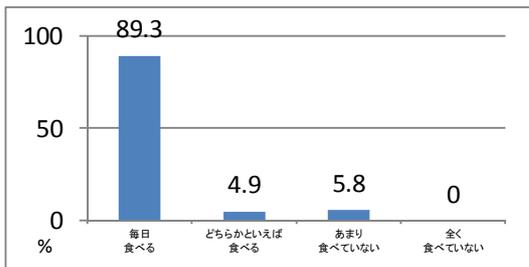
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 毎日、家で朝食をとりましょう。元気のみなもとです。

就寝時間、起床時間を決め、しっかりと朝食をとって学校に登校させてください。習慣化が大切です。

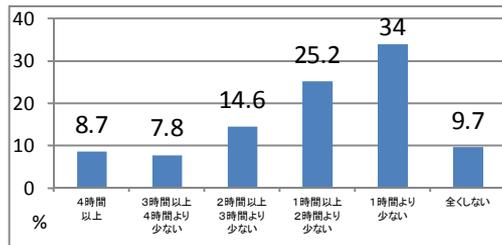
### 朝食を毎日食べていますか



## 2 家庭で守るルールを決めましょう。

テレビ、ゲーム、携帯電話やスマートフォンに費やす時間を制限し、家庭で話し合しましょう。

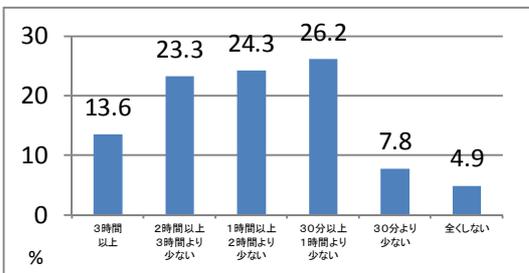
### 普段一日当たりどれくらいの時間ゲームをしますか



## 3 家庭での学習習慣を付けましょう。

今年度、6月にも配布した家庭学習の手引きでは、学習時間の目安は10分×学年です。子どもたちが学習の習慣が身に付くよう見守ってください。

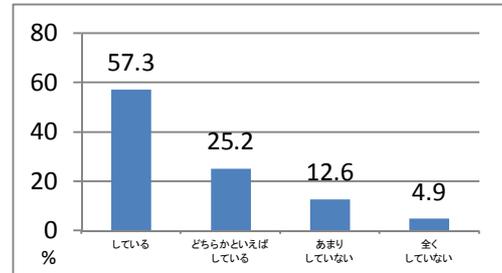
### 普段、一日当たりどれくらいの時間勉強しますか



## 4 家庭でのコミュニケーションづくりを大切にしましょう。

家庭でのコミュニケーションは必要不可欠です。興味を持ちながら、学校でのできごとについて、話す時間をつくりましょう。ちょっとした変化を見逃さずに。

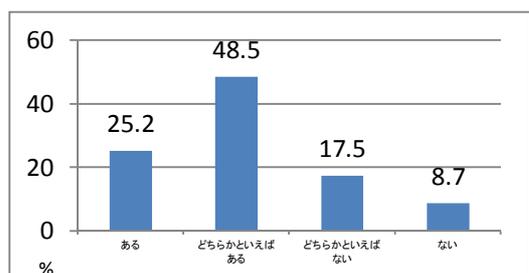
### 家の人と学校での出来事について話しますか



## 5 できるようになったことや、やさしい心が見えたらほめましょう。

自分のよさがわかったり、自信を持ったりすることで様々なことが飛躍的に伸びていきます。

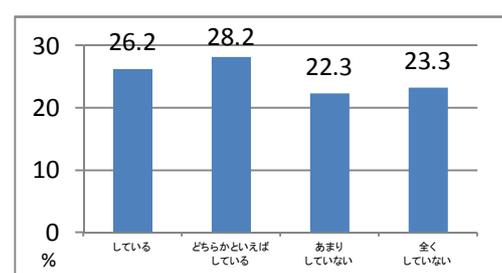
### 自分にはよいところがありますか



## 6 今住んでいる地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に参加することで地域コミュニティが作られます。また、子どもを知ってもらうことで、安全も守られます。子どもは地域の宝です。

### 地域の行事に参加していますか



## 資料

# 指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

## 学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。  
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

### 【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

### 【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

### 【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

### 【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

### 【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

### 【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

## 児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

### 【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

### 【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

### 【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

### 【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

# 「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

## ◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

### 学 力

大人になっても学習をつづけるために  
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....  
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....  
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....  
市費の教員やボランティアを配置します。

### 集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、  
自分を生かす力を身につけよう！



.....  
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....  
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

### 健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、  
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....  
体力・運動能力の向上をめざします。



.....  
自分の命を守るための学習計画を作成します。

## 学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

海老名市教育委員会



平成26年12月